

## 日本林学・森林学会論文集・同支部会論文集等

- (1) 江口則和・森井紀子・上田龍四郎・船田良・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2007) 大気中 CO<sub>2</sub> 濃度の増加に伴う冷温帯樹木シュートの通水特性と通道組織の変化 . 日本森林学会北海道支部論文集 55: 50-52.
- (2) 森井紀子・江口則和・池田武文・渡邊陽子・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2007) FACE 開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加 ) に生育する落葉広葉樹の水分生理特性 . 日本森林学会北海道支部論文集 55: 53-55.
- (3) 飛騨剛・江口則和・飛田博順・宇都木玄・上村章・北岡哲・小池孝良(2007) 高 CO<sub>2</sub> 環境下で生育した冷温帯落葉広葉樹の光補償点の変化 被陰環境で生育した稚樹を用いて . 日本森林学会北海道支部論文集 55:41-43.
- (4) 崔東壽・渡邊陽子・上里季悠・北岡哲・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良(2007)異なる光環境下に生育するニセアカシア稚樹の光合成特性 北海道大学札幌研究林の事例 日本森林学会北海道支部論文集 55:44-46.
- (5) 大塚優佳・渡邊陽子・福井富三・間宮春大・藤戸永司・日浦勉・小池孝良(2007)ブナとミズナラ稚樹の葉の被食防衛物質の局在 . 日本森林学会北海道支部論文集 55: 62-64.
- (6) 小林真・Bruanin, S.V., Naumenka, A.V., Nemilostiv, Y.P.・吉田俊也・佐藤冬樹・笹賀一郎・小池孝良(2007)山火事後に形成される様々な林床環境がグイマツ・ヨーロッパアカマツ・エゾマツ種子の発芽に与える影響 極東ロシア・アムール州の事例 日本森林学会北海道支部論文集 55:23-25.
- (7) 上里季悠・松木佐和子・飛田博順・笹賀一郎・小池孝良 (2007) 異なる CO<sub>2</sub> 濃度と土壌栄養条件がハンノキ属樹木の被食防衛に与える影響 . 日本森林学会北海道支部論文集 55:56-58.
- (8) 松井克彦・江口則和・佐藤冬樹・市川一・菅田定雄・笹賀一郎・小池孝良(2007)高 CO<sub>2</sub> 環境で生産された落葉を摂食するワラジムシの飼育試験 . 日本森林学会北海道支部論文集 55:59-61 .
- (9) 北岡哲・阪田匡司・飛田博順・上村章・北尾光俊・宇 都木玄・丸山温・笹賀一郎・小池孝良(2007)北海道の主要落葉樹からのメタン発生に関する予備試験 . 日本森林学会北海道支部論文集 55:70-72.
- (10) 江口則和・森井紀子・上田龍四郎・船田良・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) 高 CO<sub>2</sub> 環境下での冷温帯樹木の水利用特性の変化が葉柄の内部構造に与える影響 . 日本森林学会北海道支部論文集 54: 49-51
- (11) 森井紀子・江口則和・船田良・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) FACE 開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加 ) に生育する落葉広葉樹の水分生理特性 . 日本森林学会北海道支部論文集 54: 64-66.
- (12) 飛騨剛・唐津一樹・江口則和・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) 高 CO<sub>2</sub> 環境下で生育したブナとウダイカンバの呼吸特性—開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加(FACE)を用いた場合— . 日本森林学会北海道支部論文集 54:58-60.
- (13) 唐津一樹・飛騨剛・江口則和・上田龍四郎・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良(2006) FACE 開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加 ) に生育する落葉広葉樹の光合成特性 . 日本森林学会北海道支部論文集 54:61-63.
- (14) 大塚優佳・渡邊陽子・福井富三・間宮春大・藤戸永司・日浦勉・小池孝良(2006)ブナ個葉の被食防衛物質 . 日本森林学会北海道支部論文集 54: 52-54.
- (15) 小林真・池 東焄・笹賀一郎・佐藤冬樹・吉田俊也・小池孝良(2006)異なる栄養・光環境下で生育したチョウセンゴヨウマツ稚樹の光合成特性の評価 . 日本森林学会北海道支部論文集 54:73-75.
- (16) 池東焄・小林真・森井紀子・李明鐘・申東 ? ・香山雅純・北岡哲・崔東壽・小池孝良(2006) 台風 14 号による攪乱がチョウセンゴヨウマツ前生稚樹の光合成特性に及ぼす影響—韓

- 国・江原大学校演習林の事例―．日本森林学会北海道支部論文集 54:76-78..
- (17) 遠藤郁子・香山雅純・飛田博順・北尾光俊・宇都木玄・田中永晴・北岡哲・小池孝良 (2006) タイトル：シラカンバ・ウダイカンバ・ケヤマハンノキの乾燥に対する応答．日本森林学会北海道支部論文集 54:46-48.
  - (18) 柴田隆紀・小池孝良(2006)日本森林学会北海道支部論文集 54:
  - (19) 遠藤郁子・江口則和・奥山悟・石井正・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良 (2005) ケヤマハンノキとの混植がシラカンバに与える影響．日本森林学会北海道支部論文集 53: 55-57.
  - (20) 江口則和・唐津一樹・上田龍四郎・船田良・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良．(2005) FACE ( Free Air CO<sub>2</sub> Enrichment)を用いた高 CO<sub>2</sub> 濃度処理が落葉樹稚樹へ与える影響 - 成長と生理反応、2年間の結果 - ．日本森林学会北海道論文集:53: 73-75.
  - (21) 香山雅純・北岡哲・王文杰・崔東寿・池東焄・菅田定雄・北條元・浪花彰彦・高木健太郎・野村睦・笹賀一郎・小池孝良 (2005) グイマツ雑種 F1 の樹冠部における光合成特性と生産量の関係 日本森林学会北海道支部論文集 53: 49-51.
  - (22) 池東焄・李明鐘・遠藤郁子・崔東寿・渡邊陽子・北岡哲・小池孝良 (2005) 被陰下で生育したカラマツ苗木の針葉形態と光合成速度．日本森林学会北海道支部論文集, 53:70-72.
  - (23) 唐津一樹・網野真一・江口則和・上田龍四郎・高木健太郎・小池孝良．(2005) Free Air CO<sub>2</sub> Enrichment (FACE) により高 CO<sub>2</sub> 処理された落葉樹広葉樹稚樹の光合成特性と Rubisco の応答．日本森林学会北海道論文集 53:76-78.
  - (24) 佐久間祐子・渡邊陽子・藤沼康実・北岡 哲・市栄智明・笹賀一郎・小池孝良(2005) カラマツ壮齡林における異形型葉針葉の形態と光合成特性．日本森林学会北海道論文集 53:52-54.
  - (25) 北橋善範・丸山温・市栄智明・崔東寿・渡邊陽子・小池孝良 (2005) 落葉広葉樹個葉の葉面積と水分生理特性 日本森林学会北海道支部論文集 53:67-69.
  - (26) 崔 東寿・Ali M. Quoreshi・丸山温・陳鉉五・小池孝良 (2005) 高 CO<sub>2</sub> 環境下で生育したアカマツの光合成特性及び成長に及ぼす 3 種類の外生菌根菌の影響．日本森林学会北海道支部論文集 53 : 85-85.
  - (27) 小池孝良・渡邊陽子・柴田隆紀・松木佐和子・松本剛史・坂本泰明・丸山 温 (2005) カバノキ科 5 種若齡木の葉の表面構造と被食防衛能 ．日本森林学会北海道支部論文集 53 : 79-81.
  - (28) 江口則和・船田良・上田龍四郎・高木健太郎・日浦勉・笹賀一郎・小池孝良．(2004) 開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加実験( FACE)による落葉樹数種の成長応答 ．日本林学会北海道論文集、52:66-68
  - (29) 北岡 哲・渡邊陽子・日浦 勉・奥山 悟・石井 正・小池孝良(2004)上層木の伐採と窒素施肥に対する落葉広葉樹前生稚樹の個葉の応答．日本林学会北海道支部論文集 52 : 84-86.
  - (30) 柴田隆紀・竹内裕一・松木佐和子・飛田博順・北尾光俊・丸山 温・小池孝良 (2004) 異なる CO<sub>2</sub> と窒素条件で生育したシラカンバとミズナラ稚樹葉を餌としたエリサンの生存率の変化．日本林学会北海道支部論文集, 52 : 81-83.
  - (31) 香山雅純・曲 来葉・北橋善範・江口則和・赤坂宗光・小池孝良 (2004) 渡島駒ヶ岳に侵入したカラマツ稚樹の光合成特性．日本林学会北海道支部論文集, 52 : 60-62.
  - (32) 小池孝良・松木佐和子・崔 東寿・松本剛史・坂本泰明・丸山 温 (2004) カバノキ科 18 種の成長特性と被食防衛態．日本林学会北海道支部論文集, 52 : 78 - 80.
  - (33) 崔 東寿・Ali M. Quoreshi・丸山 温・陳 鉉五・小池孝良 (2004) 外生菌根菌に感染したマツ類メバエの成長と光合成特性に及ぼす高 CO<sub>2</sub> の影響．日本林学会北海道支部論文集 52 : 63 - 65 ．日本林学会北海道支部論文集 52 : 63-65.
  - (34) 北橋善範・丸山温・市栄智明・小池孝良 (2004) 落葉広葉樹の個葉における気孔の形態と水分生理．日本林学会北海道支部論文集 52 : 87-89.

- (35)野口麻穂子・香山雅純・吉田俊也・小池孝良 (2003) 冬山造材を行った地域におけるトドマツ前生稚樹の光合成特性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 36-38.
- (36)北橋善範・丸山温・市栄智明・小池孝良 (2003) 落葉広葉樹の樹冠部における着葉高の違いと個葉の水分特性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 39-41.
- (37)松木佐和子・阿部知浩・竹内裕一・丸山温・小池孝良 (2003) カバノキ科樹木におけるトリコーム形成の環境および季節依存性. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 42-44.
- (38)小池孝良・松木佐和子・松本剛史・飛田博順・北尾光俊・丸山温 (2003) 落葉広葉樹 6 種の被食防衛物質の生産に及ぼす被陰と栄養塩の影響. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 45-48.
- (39)北岡 哲・奥山 悟・石井 正・小池孝良(2003)上層木の伐採が落葉広葉樹前生稚樹の光利用特性に与える影響. 日本林学会北海道支部論文集 51 : 30-32.
- (40)崔 東壽・香山雅純・陳鉉五・李忠和・小池孝良 (2003) 韓国安山工業団地で育っている二つのマツ類の成長と生理学的反応. 日本林学会北海道支部論文集, 51 : 58-60.
- (41)小池孝良・アリ・クオレシ・北尾光俊 (2002) 異なる水分条件で生育したシラカンバ属 3 種の根の成長特性. 日本林学会北海道支部論文集, 50 : 8-10.
- (42)香山雅純・北岡 哲・奥山 悟・松田 彊・小池孝良 (2002) 同一地域に植栽されたトウヒ属樹木 4 種の生理特性. 日本林学会北海道支部論文集, 50 : 23-25.
- (43)北岡 哲・上田龍四郎・石井 正・田中夕美子・柴田英昭・小池孝良 (2002) 無電源地帯用の 6 点式土壌呼吸測定装置の開発. 日本林学会北海道支部論文集, 50 : 26-28.
- (44)小池孝良・松木佐和子・松本剛史・矢崎健一・船田 良・飛田博順・北尾光俊・丸山 温 (2001) 高 CO<sub>2</sub> 条件と被陰条件で生育した樹木葉の被食防衛物質. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 27-29.
- (45)北岡 哲・王 文杰・奥山 悟・杉下義幸・菅田定雄・秋林幸男・小池孝良 (2001) カラマツ属の樹冠部における光合成特性 二酸化炭素 光合成関係の測定によるカルボキシレーション効率の評価. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 15-17.
- (46)松木佐和子・松本剛史・小池孝良 (2001) カバノキ科を中心とした落葉広葉樹 5 種の葉切除に対する応答. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 24-26.
- (47)香山雅純・北岡 哲・北尾光俊・丸山 温・飛田博順・小池孝良 (2001) 蛇紋岩土壌及び酸性土壌に植栽された主要樹種の蛍光測定によるストレス評価. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 30-32.
- (48)大石真智子・香山雅純・Ali M.Quoreshi・北岡 哲・王 文杰・松浦陽次郎・丸山 温・小池孝良 (2001) 貧栄養火山灰土壌におけるトウヒ属 2 種の成長. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 33-35.
- (49)王 文杰・北岡 哲・石 福臣・笹賀一郎・秋林幸男・菅田定雄・杉下義幸・北條 元・奥山 悟・石井 正・小池孝良 (2001) カラマツ人工林の非同化器官と土壌の呼吸測定. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 36-38.
- (50)石 福臣・王 文杰・北岡 哲・松浦陽次郎・笹賀一郎・小池孝良 (2001) カラマツとトドマツ人工林の土壌呼吸の比較. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 39-41.
- (51)小池孝良・北岡 哲・王 文杰・上田龍四郎 (2001) 携帯型 6 点式 CO<sub>2</sub> 濃度サンプリング装置の開発. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 45-47.
- (52)香山雅純・北岡 哲・笹賀一郎・秋林幸男・中島潤子・北條 元・杉下義幸・松田 彊・小池孝良. (2000) アカエゾマツによる山火事跡再生試験の解析 - 北大天塩地方演習林「中の峰」試験地の事例 - . 日本林学会北海道支部論文集, 48 : 72-74.
- (53)北岡 哲・秋林幸男・菅田定雄・北條 元・芦谷大太郎・奥山 悟・浪花彰彦・笹賀一郎・小池孝良. (2000) カラマツ類の光合成能力の季節変化. 日本林学会北海道支部論文集, 48 : 78-90.
- (54)高橋忠幸・小池孝良・佐々朋幸・B.I.Ivanov・T.C.Maximov(1993)シベリア・タイガ地帯にみられる主要 3 樹種の葉中養分濃度. 日本林学会論文集 104:325-326 .

- (55)田淵隆一・高橋邦秀・小池孝良。斎藤武史(1992)落葉広葉樹林内の稚幼樹の葉群動態と光合成能。日本林学会論文集 102:485-486.
- (56)小池孝良(1992)北海道産ヤナギ属とハコヤナギ属数種の光合成速度の季節変化。日本林学会論文集, 103:405-406.
- (57)小池孝良・田淵隆一・藤村好子(1991)ドロノキ苗木の成長に及ぼす高二酸化炭素濃度の影響。日本林学会論文集, 102:519-520.
- (58)小池孝良・藤村好子・高橋邦秀・坂上幸雄(1990)北海道産ダケカンバの成長特性—シラカンバとの比較—。日本林学会論文集, 101:435-436 .
- (59)藤村好子・高橋邦秀・小池孝良・田淵隆一(1990)ハリギリ苗木の成長に及ぼす庇陰の影響。日本林学会論文集, 101:359-360 .
- (60)高橋邦秀・藤村好子・小池孝良・田淵隆一(1990)異なる表土母材と気温の組み合わせによるウダイカンバ種子の発芽。日本林学会論文集, 101:457-458 .
- (61)藤村好子・高橋邦秀・小池孝良(1989)カツラ苗木の成長に及ぼす庇陰の影響。日本林学会論文集, 100:436-437 .
- (62)高橋邦秀・藤村好子・小池孝良(1989)弱光に順化した広葉樹苗木の光合成・蒸散特性と耐陰性。日本林学会論文集, 100:435-436.
- (63)高橋邦秀・藤村好子・小池孝良(1988)北海道産落葉広葉樹の温度順化特性( ) - 昼・夜温の影響 - 。日本林学会論文集, 99:323-325.
- (64)小池孝良・高橋邦秀・藤村好子(1988)秋季におけるダケカンバとウダイカンバの光合成特性の比較。日本林学会論文集, 99:327-328.
- (65)小池孝良・藤村好子・高橋邦秀(1987)ウダイカンバ人工林の直径と樹高の頻度分布の5年間の変化。日本林学会論文集, 98:399-400 .
- (66)小池孝良(1987)落葉広葉樹数種の温度 - 光合成速度関係。日本林学会論文集, 98:391-392.
- (67)小池孝良(1987)落葉広葉樹数種の飽和光合成速度と呼吸速度の季節変化。日本林学会論文集, 98:389-390.
- (68)小池孝良・弓場 譲(1986)落葉広葉樹数種の蒸散速度の日変化。日本林学会論文集 97:365-366
- (69)小池孝良(1986)落葉広葉樹の単葉の生長と光合成の経時変化。日本林学会論文集, 97:373 - 374.
- (70)小池孝良(1986)落葉広葉樹数種の光合成に及ぼす光前歴の影響。日本林学会論文集, 97:375-376 .
- (71)小池孝良(1985)異なる海拔高に生育するダケカンバの着葉数と光合成の季節変化。日本林学会論文集, 96:337-338 .
- (72)真田 勝・小池孝良(1985)ウダイカンバ人工林における落葉落枝の分解過程(I) - 初期段階における重量および養分濃度の変化 - 。日本林学会論文集, 96: 227-228 .
- (73)小池孝良(1985)カンバ類3種苗木の生長過程に及ぼす水分傾度の影響。日本林学会論文集,96: 315-316
- (74)小池孝良・坂上幸雄・藤村好子(1984)北海道カンバ類3種の層別の開葉速度と着葉期間。日本林学会論文集, 95:373-374 .
- (75)小池孝良・坂上幸雄(1984)異なる2海拔高に生育するダケカンバの光合成特性。日本林学会論文集, 95: 373-374 .
- (76)小池孝良・坂上幸雄・藤村好子(1983)カンバ類三種の開葉速度と気温との関係。日本林学会論文集, 94: 325-326.
- (77)小池孝良・坂上幸雄(1983)北海道産カンバ三種の光合成,呼吸速度の季節的变化日本林学会論文集, 94:327-328
- (78)小池孝良・坂上幸雄(1982)ウダイカンバとシラカンバの光合成速度・呼吸速度の季節変化。日本林学会論文集, 93:229-230.

- (79) 池東焄・崔東壽・北岡哲・香山雅純・小林真・江口則和・小池孝良(2006) 韓国・江原大学校演習林における台風後のチョウセンゴヨウマツ前生稚樹の光合成特性の季節変化．日本森林学会北海道支部口頭発表

### 解説（北方林業など）

- (1) 小池孝良・江口則和・笹賀一郎 (2005) FACE (開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加) を用いた冷温帯落葉樹への高 CO<sub>2</sub> 付加実験．日本光合成研究会会報 43:8-12 .
- (2) Eguchi, N., Koike, T. and Ueda, T. (2005) Free air CO<sub>2</sub> enrichment experiment in Northern Japan. Vaisala News 169: 15-16.
- (3) 江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良(2004) FACE (開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加) を用いた落葉樹への高 CO<sub>2</sub> 付加実験．北方林業 56:4-7.
- (4) 北橋善範・丸山 温・市栄智明・崔 東壽・江口則和・小池孝良(2004) 落葉広葉樹の気孔の形態と水の使い方—都市緑地評価への適用を目指して—．北方林業 56: 8-11
- (5) 小池孝良・松木佐和子・松本剛史 (2004) 変動環境下での樹木の成長特性と被食防衛機構—食葉性昆虫の活動への応答に注目して—、樹守 (樹医会北支部) 13: 6-9
- (6) 丸山 温・小池孝良 (2004) 「新・森林考」これからの森づくりをはじめにあって．北方林業 56:16
- (7) 小池孝良 (2004) 森林環境資源の修復に向けて．北方林業 56:17-20
- (8) 小池孝良 (2004) 高 CO<sub>2</sub> 環境で生育した落葉広葉樹の被食防衛、化学と生物 42: 149-151
- (9) 松木佐和子・小池孝良 (2004) 被食防衛の樹種特性を生かした森林保全管理、北方林業 56:185-188.
- (10) 香山雅純・小池孝良(2004) 道央自動車道の樹林地の衰退原因解明と健全性向上に関する管理技術の高度化．道路と自然 124:30-33.
- (11) 高木健太郎・野村 睦・柴田英昭・笹賀一郎・秋林幸男・佐藤冬樹・小池孝良・福澤加里部・香山雅純・藤沼康実・前林 衛 (2004) 北海道北部針広混交林における皆伐施業が微気象および炭素・水循環に与える影響．北方林業 56: 197-200
- (12) 香山雅純・崔 東壽・陳 鉉五・李 忠和・小池孝良(2004) 韓国安山工業団地に植栽されたマツ属 2 樹種の衰退現象と成長反応．北方林業 56:269-272
- (13) 高木健太郎・江口則和・上田龍四郎・笹賀一郎・小池孝良(2004) 樹木を用いた開放系大気 CO<sub>2</sub> 増加実験(FACE)システムにおける二酸化炭素濃度の制御．北海道の農業気象 56:9-16
- (14) 香山雅純・杉下義幸・菅田定雄・北條 元・野村 睦・秋林幸男・笹賀一郎・小池孝良 (2003) アカエゾマツを利用した蛇紋岩土壌地帯の無立木地からの森林再生．北方林業 55: 4-7.
- (15) 香山雅純・小池孝良・丸山 温・坂本泰明 (2003) 道央自動車道の法面緑化樹種の衰退現象と外生菌根菌導入の試み．北方林業 55: 60-63 .
- (16) 小池孝良・北尾光俊・曲 来葉・香山雅純 (2003) 森林環境修復と冷温帯樹種の根圏活動．北方林業 55: 64-67.
- (17) 小池孝良・松木佐和子・山路恵子・松本剛史(2003) 樹木の被食防衛能と食葉性昆虫の活動．北方林業 55: 206-209.
- (18) 笹賀一郎・小池孝良(2002) 札幌研究林と「ユーラシアの森」見本林計画．北方林業、54:42-45
- (19) 小池孝良(2002) 地球温暖化低減に関わる森林生態系の炭素循環システムの構築に向けて．技術と経済 428:52-57.
- (20) 小池孝良(2002) 伝えたい匠の技術：森林国フィンランドを例にして，北方林業 54: 270-273
- (21) 香山雅純・小池孝良(2002) 道央自動車道の法面緑化樹種の共生菌導入による活着促進技術と CO<sub>2</sub> 固定能の評価．道路と自然 117:28-32 .

- (22) 丸山 温・森 茂太・北尾光俊・飛田博順・小池孝良(2002) 施肥がヤナギの光合成特性と成長に与える影響．森林立地 44:71-75.
- (23)小池孝良 (2001) 熱帯樹木の生理生態的特性と炭素収支．科学 71：1205-1209.
- (24)香山雅純・秋林幸男・アリ・クオレシ・小池孝良 (2001) 樹木の生育に果たす外生菌根菌の役割—トウヒ属樹木の観察から— 北方林業 53:197-200.
- (25)小池孝良 (1999) CO<sub>2</sub> 濃度上昇と森林の応答能力研究の動向．大気環境学会誌 34:A35-A42 .
- (26) 小池孝良・笹 賀一郎・北尾光俊・丸山 温 (1999) 北方森林における地球環境変化と環境育種の可能性．北海道の林木育種 42:10-13 .
- (27) 小池孝良(1999) 二酸化炭素吸収源としての緑．道路と自然 102: 9-11.
- (28)小池孝良 (1998) ミトコンドリア DNA でみるブナ林の歴史. 遺伝 52：42-46.
- (29) 小池孝良 (1998) 葉のフェノロジー研究における種間比較の意義．フェノロジー研究 30：1-9 .
- (30) 小池孝良・森 茂太・松浦陽次郎 (1998) 東シベリアのタイガにおける温暖化影響調査. 北方林業 50:241-244 .
- (31)小池孝良 (1997) 樹種の保全生態 - 森林修復の基礎 - . 北方林業 49: 39-42.
- (32) 小池孝良 (1997) 森林の修復と保全への展望、北方林業 49:66-69.
- (33) 小池孝良(1997) 葉の光合成．林業技術 663:15-18.
- (34) 小池孝良 (1996) 温暖化環境における樹木の生理生態的反応特性 .東北大学遺生研 I G E、21:77-83.
- (35) 小池孝良 (1996) 外生菌根菌とフタバガキ科樹木の生理生態研究 - 林木のソース・シンク研究の立場から - . 森林科学 16: 67-69.
- (36)小池孝良 (1994) タイガの伐採と湿原のメタン．動物たちの地球 141: 278-279.
- (37) 小池孝良、Lei, T.T. (1994) 地球環境変化と木本植物のフェノロジー．フェノロジー研究 22: 1-7.
- (38)小池孝良 (1993) 主要樹種 CO<sub>2</sub> 固定能の意義. 北方林業 45：15-18.
- (39) 高橋邦秀、太田誠一、小池孝良、大沢 晃、佐々朋幸 (1993) 東シベリアの森林調査から．北海道の林木育種 36：20-25.
- (40) 太田誠一、小池孝良、大沢 晃、佐々朋幸、高橋邦秀 (1993) シベリア永久凍土地帯のタイガ林調査から．森林科学 7：68-73.
- (41)小池孝良 (1991) 葉の寿命と樹種の生活の仕方．北方林業 43：323-326.
- (13) 小池孝良・長坂寿俊・岸田昭雄 (1992) 主要樹種の初産齢と成長特性との関係．北海道の林木育種 34：22-28.
- (14) 小池孝良(1991) 落葉広葉樹の光の利用の仕方—光合成特性—，研究レポート 25:1-8
- (42)小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向( 欧州での研究から ). 北方林業 42:205-210.
- (43)小池孝良 (1990) 欧米における森林の衰退に関する研究の動向( 米国の研究事情とまとめ ). 北方林業 42:232-236.
- (44)小池孝良 (1990) フィンランドの巨大ビニルハウスとカンバ類の育種事情、林木の育種 156:29-33.
- (45)小池孝良 (1990) 用語を提唱する - Specific Leaf Weight と訳 - 、日本林学会誌 72：255-256.
- (46)小池孝良 (1988) 落葉広葉樹の生存に必要な明るさとその生長に伴う変化．林木の育種 148: 19-23.
- (47)小池孝良、向出弘正、高橋邦秀、藤村好子 (1988)ウダイカンバ若齢人工林における衰退木の特徴．北方林業 40: 141-144.
- (48)高橋邦秀・藤村好子・小池孝良・中村梅男 (1988)アカエゾマツの晩霜害. 北方林業 40: 259-263.

- (49)小池孝良(1987) 落葉広葉樹の光合成と寿命．北方林業 39: 209-213.
- (50)小池孝良 (1987) 葉広葉樹の開葉と紅葉の仕方．北方林業 39: 322-325.
- (51)小池孝良 (1987) 北海道における落葉広葉樹の光合成研究から．林木の生長機構 1:  
27-34.